
リアルで救世主。

nao

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リアルで救世主。

【Nコード】

N6217Z

【作者名】

nao

【あらすじ】

翼はまったく予測していなかった。自分が、こんな最低で最高で冷血で暖かく、どうしようもなく孤独で楽しい物語に巻き込まれることなど。

謎の転校生！？（前書き）

短編を見ておられない方でも、楽しんで読むことのできる作品にしているつもり（笑）です。

謎の転校生！？

〈第一話〉謎の転校生！？

「山城美緒です。よろしく願いします」

彼女・・・転校生、山城美緒は、刹那の曇りもなく、かといって、明るいわけでもなく。非常に『普通』の生徒だった。淡々とまるで漫画の様な定番・・・かとしても、現実でやる者は数人しか見た事が・・・でも、数人は多いのか？・・・そう、悩ませるあいさつをし、空席に着いた。なんと、そこは僕、五条翼の席の隣だった。山城美緒は、特別に美人というわけでもないが、それなりの美少女だった。普通と特別の間だろう。なので翼はあたふたし、可愛い彼女の機嫌をそこねない様に。頑張ってみようとおもった。昔から、翼は少し浮いた人間を見ると、すごく顔を窺がってしまうのだ。

「よ、よろしく？山城さん。」

「・・・よろしく。」

・・・あれ？翼は、呆気にとられた。普通、そこは、『よろしくね。あなたは？』などと。聞いてくるところではないのか。みじんも自分に興味がなさそうな彼女を見て、翼はため息を着いた。

キンコーンカーンコーン・・・

「きおつけ！・・・礼」

「ありがとうございました」

次は数学かと、いそいそと準備を始める翼に、山城は歩寄った。そして、思いがけない言葉を口にした。

「あの。・・・ご・・・五条？教科書忘れて、見せてくれない？」

「え・・・あ、いいよ？」

???

どういうわけか、何故か翼に興味のなさそうな美緒だったのだが、左隣の女ではなく、忘れたものを、翼に借りようというわけだ。

どうしてだろう??

翼に、二つの考えが浮かんた。 1、気になっている。

2、ただのパシリ。

・・・さあて。どちらなのだ！？彼は息をのみ、チャイムが鳴ったと同時に、自分の机についた彼女の机をはっと見た。

なにかが始まる。そう予感して。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6217z/>

リアルで救世主。

2011年12月20日21時45分発行